

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	小畑 拓也	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（文学）	職位	教授
専門分野	アメリカ文学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	欧米文学概論、欧米文学講義、比較文学、文芸創作入門Ⅰ、文芸創作入門、欧米文学専門演習 a 欧米文学専門演習 b、卒業論文（構想・準備）、卒業論文（構想・準備）文芸創作ゼミ 卒業論文（制作）、卒業論文（制作）文芸創作ゼミ、編集とデザイン
大学院	日本文学・言語文化総論、米文学特論、比較文学特論、文芸創作特論
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）テクノロジーによって揺れる人間観を中心に据えたSF読解	
（2）テクノロジー、メディア、文学の交点	
（3）娯楽性を中心に考える「文学」の境界線	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R6・R5・R4	
R5〈パネリスト発表〉「自分だけの『島』」2023年8月5日 浦和コミュニティセンター（埼玉県さいたま市浦和区） 第61回日本SF大会 パネルディスカッション「『視覚映像文化とSF』の部屋— ゲーム的リアリティ」コーディネーター・パネリスト：中垣恒太郎（専修大学）、 パネリスト：小畑拓也（尾道市立大学）、白鳥克弥（専修大学）	
R4〈評論〉「SFアニメとジェンダー：ヒーローたちのwhat-if」『尾道文学談話会会報第13号』 （2023年2月）(1)-(8)頁 〈パネリスト発表〉「トリックスターと『運命の乗り換え』」2022年8月27日 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」（福島県郡山市）第59回日本SF大会 パネルディスカッション「『視覚映像文化とSF』の部屋-歴史変遷とマルチパス」 コーディネーター・パネリスト：中垣恒太郎（専修大学）、 パネリスト：小畑拓也（尾道市立大学）	
R3以前の主な研究業績	
（1）「ウォールドウ」というメディア——「いま、ここ」にある物語を読む手がかりとしての拡張現実と サイボーグ——『英米文学の可能性——玉井暉教授退職記念論文集——』（英宝社、2010年3月） 747-758頁〈論文〉	
（2）「見えないロボット——ハインラインのポストヒューマンな世界」『S-Fマガジン2011年4月号』 （早川書房、2011年2月）217-223頁〈その他〉	
（3）グレゴリー・クレイズ『ユートピアの歴史』（東洋書林、2013年7月 監訳：巽孝之 原著：Gregory Claeyes, <i>Searching for Utopia: The History of an Idea</i> [2011]) 本文・コラム・図版キャプション翻訳担当（3-309頁）〈翻訳〉	
（4）『マクルーハンとヴァーチャル世界』（岩波書店、2005年4月）〈翻訳〉	
（5）「タイムマシンとサイボーグ—自己統御幻想とアメリカSF」『尾道大学芸術文化学部紀要3号』 （2004年3月）63-72頁〈論文〉	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R4・R5・R6	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
Science Fiction Research Association、大阪大学英文学会、尾道市立大学日本文学会	
IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）	
（1）おのみち文学三昧運営スタッフ（2024年12月7日）	